

市来体育館、市来武道館、川北スポーツ公園及び秀栄ドームの 指定管理者の決定について

上記施設の指定管理者について、いちき串木野市公の施設指定管理者選定審議会の審査結果を踏まえ、指定管理者を次のように決定しました。

1. 施設名
いちき串木野市市来体育館
いちき串木野市市来武道館
いちき串木野市農村交流施設（川北スポーツ公園）
いちき串木野市全天候型多目的運動場（秀栄ドーム）
2. 指定管理者
東京都中野区東中野三丁目 18 番 12 号
株式会社 日本水泳振興会
代表取締役 坂元 要
3. 指定期間
令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 10 年 3 月 31 日
4. 申請団体

申請 団体数	内 訳			
	民間事業者	NPO	公社・公益法人等	その他
1	1	0	0	0

5. 選定審議会及び審査結果

○審査期日 諮問・答申 令和 6 年 10 月 4 日（金）
（識見委員 5 名 内部委員 4 名 合計 9 名）

6. 申請の概要

（当該施設の指定管理者の指定を申請した理由）

株式会社日本水泳振興会は、いちき串木野市市来体育館、市来武道館、農村交流施設/川北スポーツ公園を約 16 年間、多目的運動場/秀栄ドームを約 8 年間の管理運営経験やノウハウ、地域の皆様との連携や協働の実績を有しており、常に地域の皆様に愛される当該施設となるべく「安全・安心・快適」な施設利用環境の提供を行ってきました。

貴市と、2020 年から始まったコロナ禍なども連携し、厳しい運営状況下においても市民の健康第一を最優先で管理運営を行い、今日を迎えています。

弊社は次期指定管理期間においても、少子高齢化に伴う人口減少の課題への取り組み及び当該施設の老朽化に伴う施設の長寿命化へ取り組みます。また、これまでの経験・実績とノウハウを活かし、弊社のネットワークを活用・継続して維持管理運営ができるのは、弊社だけしかいないとの「使命感」を持って、貴市の様々な課題に取り組み、ならびに、貴市の発展に貢献したく申請します。

(団体の経営方針)

弊社は経営理念である、社員一人一人の「人財力」をさらに高め弊社が培った経験とノウハウを最大限に活かし、社会に貢献していく所存です。

人々の関心や時代の変化に的確に対応し続けることで、常に一步先を見据えたサービス展開を積極的に進めています。

安全・安心を第一に、質の高いサービスと様々なイベントの企画・運営を提供することにより「価値ある時間の創造」へと変え「生活の質の向上」「地域振興の促進」は元より、「地域活性化」の実現を目指します。そしてこれまでの沢山の「ご縁」を大切にし、未来に向かって発展し続けます。

1. お客様に合った運動プログラムの提供と実践・評価
2. 安全で衛生的な「場」の提供
3. 地域の人材を生かした雇用の確立
4. 行政及び民間組織団体との連携
5. 専門性を有することはもとより明るく誠実で行動力のある社員の育成
6. 目標達成（会社と個人）のための実践及び評価
7. 多角的な視野で新規事業の創造と挑戦

(当該施設の現状に対する考え方と将来展望)

弊社は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策や令和5年度に開催された「かごしま国体・かごしま大会」を経験し、当該施設や貴市のスポーツ施設がもたらす「健康意識の向上・健康増進」「コミュニティー形成」「青少年の健全育成」等の役割を改めて認識しました。

当該施設では大規模大会等はありませんが、市民の暮らしに身近な「場所」として存在しており、スポーツを通じた地域のコミュニティーの場所としての役割が大きいと認識しています。

これを踏まえ、当該施設の将来展望は、「施設の長寿命化を図り（施設を守り）、利用者のスポーツ振興（利用の機会を育て）、コミュニティーの場の維持・推進（地域や世代間をつなぐ）」ことで、「市民に親しまれ、愛される 持続可能な スポーツ・コミュニティー拠点の育成及び醸成」につながり、地域の継続的な活性化に貢献できると考え、施設運営に取り組みます。

7. 選定の理由

申請者が1団体であったため得点表による採点は行わず、申請書類の内容審査により指定管理者候補者を選定した。

申請者は、サービスを向上させる方策やトラブル等の未然防止等について具体的かつ実現可能な提案がなされている。

申請者は、市来体育館・市来武道館・川北スポーツ公園は平成21年度から、秀栄ドームは平成29年度から指定管理を行っており、管理実績は良好であり、また施設利用者からの評判も良く安定した管理が期待できる。

また、経営状況も安定していることから、当該施設の指定管理者として適切であると判断した。

8. 議会の議決

令和6年第4回いちき串木野市議会定例会で議決